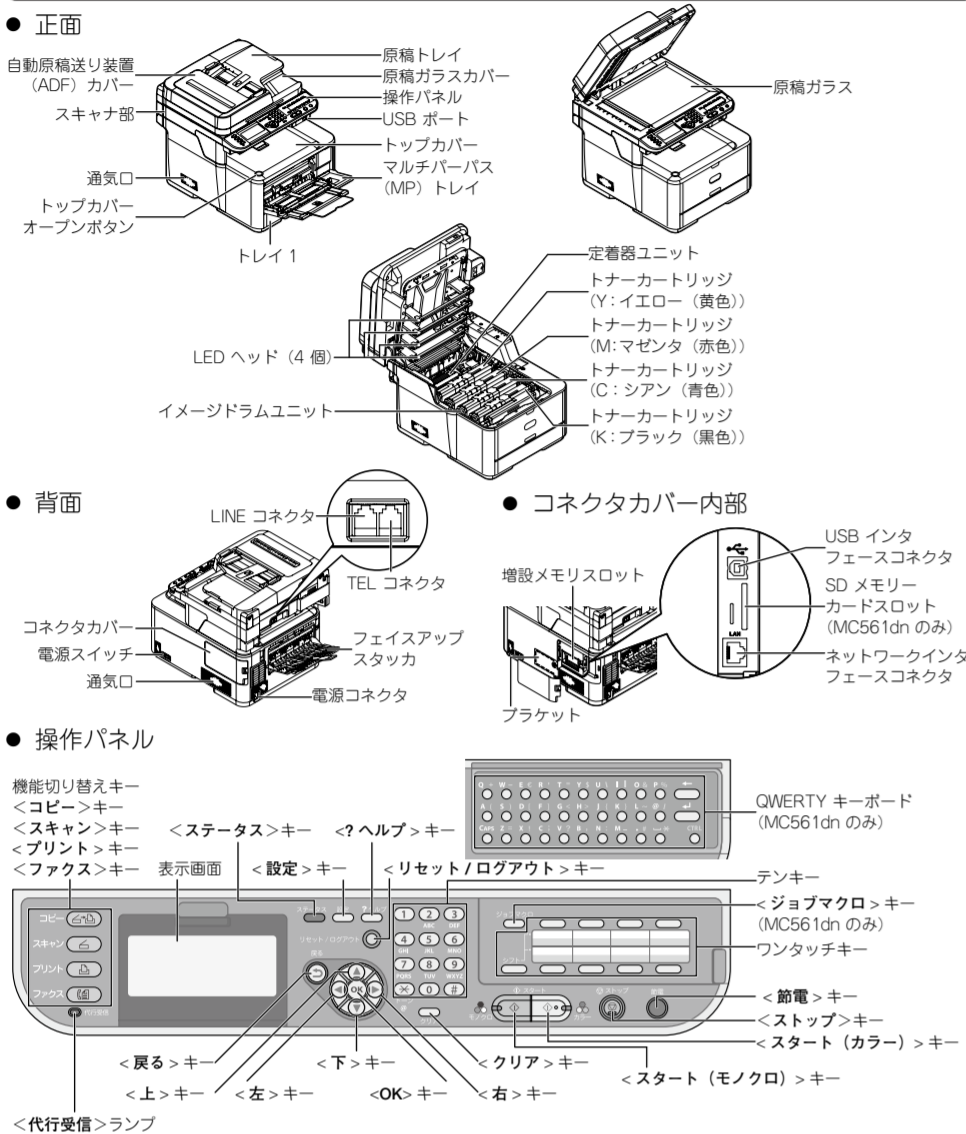


クイックガイド

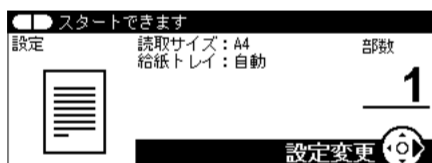
商品に関するお問い合わせは
 東芝テック コンタクトデスク
 電話：0120-201877
 受付時間：9：00～12：00、13：00～17：00
 (土・日・祝祭日および年末年始、弊社休業日を除く)

各部の名称



コピーします

- 操作パネルの<コピー>キーを押して、スタート画面を開きます。



- 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。
- 必要に応じて、コピー設定を変更します。
- テンキーで部数を入力します。
- 1～99部まで入力できます。
- 間違えて入力したときは、<クリア>キーを押して入力しなおします。<クリア>キーを押すと、もとの設定値に戻ります。
- 🖨️ または 🖨️ を押してコピーを始めます。

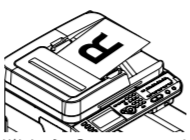
● 詳しい手順は、ユーザーズマニュアル 基本編をご覧ください。

原稿のセット方法

自動原稿送り装置 (ADF) または原稿ガラスを使って原稿をセットし、コピー、スキャン、またはファクス送信することができます。

■ 原稿を自動原稿送り装置にセットする

- 原稿を表にして自動原稿送り装置にセットします。
縦向きの場合、原稿の上端から入っていくようにセットします。



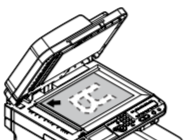
横向きの場合、原稿の左端から入っていくようにセットします。



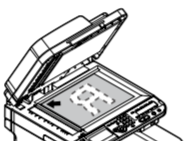
- 原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

■ 原稿を原稿ガラスにセットする

- 原稿ガラスカバーを開きます。
- 原稿を裏にして、原稿ガラスにセットします。
縦向きの場合、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。



横向きの場合、原稿の右端とガラスの左上の角を合わせます。



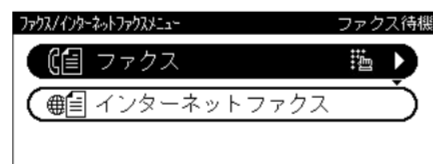
- 原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

● 詳しい手順は、ユーザーズマニュアル 基本編をご覧ください。

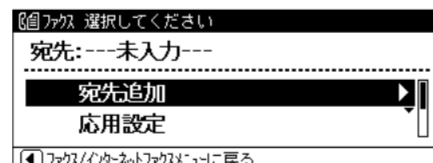
ファクスを送信します

● 原稿の読み取りには、自動原稿送り装置が優先的に使用されます。原稿ガラスを使用するときは、原稿を自動原稿送り装置にセットしないでください。

- 操作パネルの<ファクス>キーを押します。
- 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。
- [ファクス] が選択されていることを確認し、🖨️ を押してスタート画面を開きます。



- スタート画面で [宛先追加] が選択されていることを確認し、🖨️ を押します。



- 宛先を指定します。
宛先を指定するときは、テンキーによる直接入力、短縮ダイヤルリスト、宛先グループリスト、送信履歴、受信履歴、ワンタッチキーを使用できます。
- 必要に応じて、応用設定を変更します。
- 🖨️ を押して、送信を始めます。
原稿ガラスを使用した1回のファクス操作で、複数の原稿を読み取りたいときは、継続読取モードを有効にします。

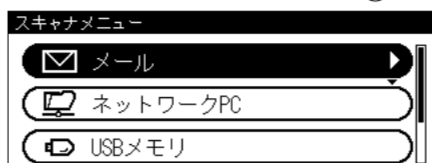
● 🖨️ は使用できません。

● 詳しい手順は、ユーザーズマニュアル 基本編をご覧ください。

スキャン To E メール

スキャンしたデータをEメールに添付できます。

- 操作パネルの<スキャン>キーを押します。
- 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。
- [メール] が選択されていることを確認し、🖨️ を押します。



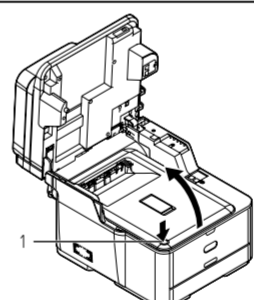
- [宛先追加] が選択されていることを確認し、🖨️ を押します。
- [To] が選択されていることを確認し、🖨️ を押します。
[Cc] または [Bcc] を選択する場合は、▼ を押し、🖨️ を押しください。
- 宛先を指定します。
宛先は、直接入力、アドレスブック、グループリスト、送信履歴、LDAP 検索のいずれかの方法で指定します。
- 🖨️ または 🖨️ を押します。

● 詳しい手順は、ユーザーズマニュアル 基本編をご覧ください。

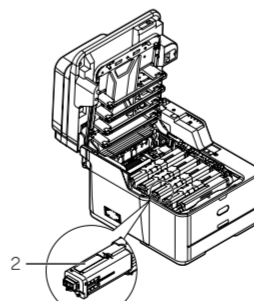
トナーカートリッジの交換

- 新しいトナーカートリッジを準備します。
- スキャナ部を開きます。
- トップカバーオープンボタン (1) を押し、トップカバーを開きます。

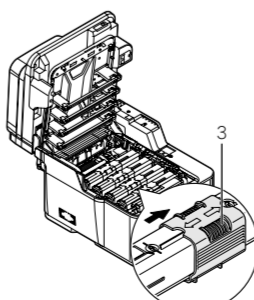
● 定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。



- ラベル (2) の色で、交換するトナーカートリッジを確認します。



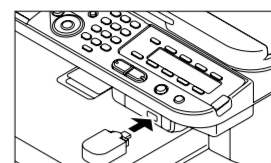
- トナーカートリッジの青いロック (3) を右側にスライドさせ、ロックを解除します。



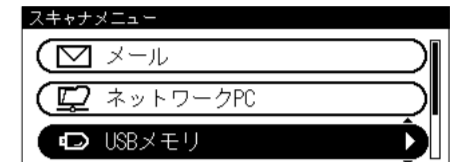
スキャン To USB メモリ

スキャンしたデータを、USBメモリに保存できます。

- 操作パネルの<スキャン>キーを押します。
- 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。
- USBメモリを、本機のUSBポートに差し込みます。



- ▼ を押し、[USBメモリ] を選択し、🖨️ を押します。

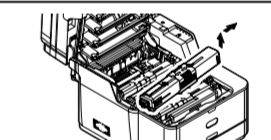


- ▼ を押し必要に応じて読み取り設定をします。
- 🖨️ または 🖨️ を押します。
- USBメモリを安全に取り外しできることを示すメッセージが表示されたら、USBメモリを取り外します。

● 詳しい手順は、ユーザーズマニュアル 基本編をご覧ください。

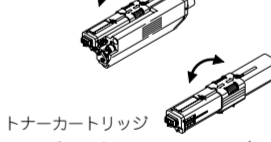
- トナーカートリッジを右端から持ち上げ、取り出します。

● 使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れてください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

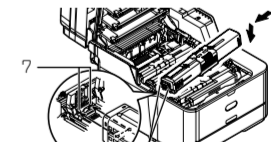


- 新しいトナーカートリッジを開封し、上下左右に数回振ります。

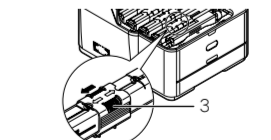
● K トナーカートリッジの形状は、ほかのカートリッジと異なります。



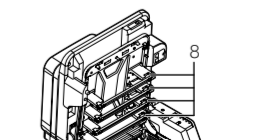
- 新しいトナーカートリッジの色のラベルとイメージドラムユニットの色のラベルの位置が合うように、トナーカートリッジの左端の突起 (6) をイメージドラムユニットの穴 (7) に合わせて差し込み、右側も確実にセットします。



- トナーカートリッジの青いロック (3) を左側にスライドさせ、ロックします。



- 柔らかいティッシュペーパーで4個のLEDヘッド (8) を拭きます。



- トップカバーを閉じます。
- スキャナ部を閉じます。

● 詳しい手順は、ユーザーズマニュアル 基本編をご覧ください。

紙づまりになったとき

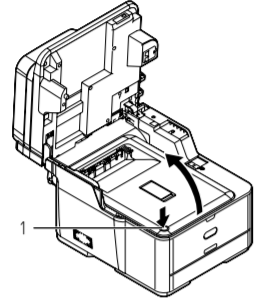
注意 やけどのおそれがあります。

● 定着器ユニットは高温になっていますので、作業は慎重に行い、持ち上げるときは必ずハンドルを持ってください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

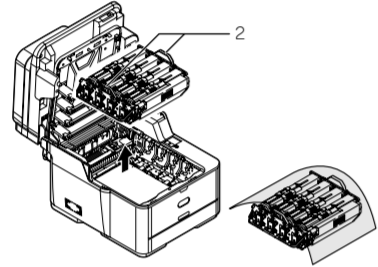
- 注**
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
 - イメージドラムユニットは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分以上は放置しないでください。

エラーコード 370、371、372

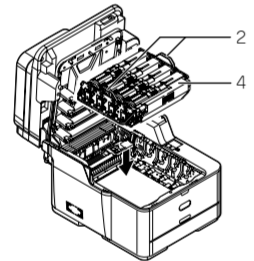
- 1 原稿トレイに原稿がある場合は取り除きます。
- 2 スキャナ部を開きます。
- 3 トップカバーオープンボタン（1）を押し、トップカバーを開きます。



- 4 イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、本機から取り出し、平らな場所に置きます。イメージドラムユニットを黒い紙または黒い袋で覆います。



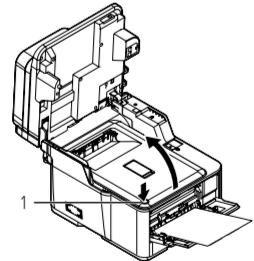
- 6 イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、K トナーカートリッジ（4）の位置が手前になるように本機に戻します。



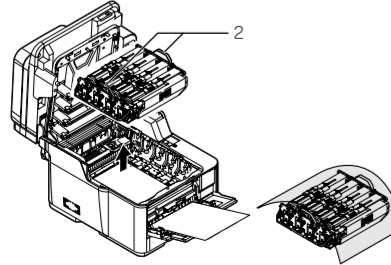
- 7 トップカバーを閉じます。
- 8 スキャナ部を閉じます。

エラーコード 390

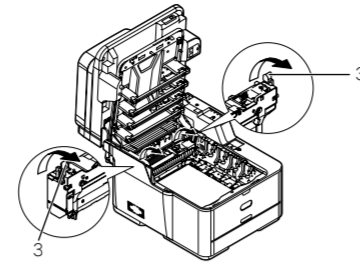
- 1 原稿トレイに原稿がある場合は取り除きます。
- 2 スキャナ部を開きます。
- 3 トップカバーオープンボタン（1）を押し、トップカバーを開きます。



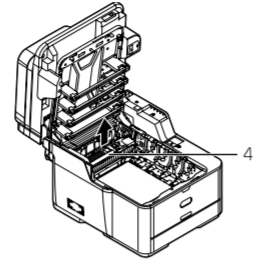
- 4 イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、本機から取り出し、平らな場所に置きます。イメージドラムユニットを黒い紙または黒い袋で覆います。



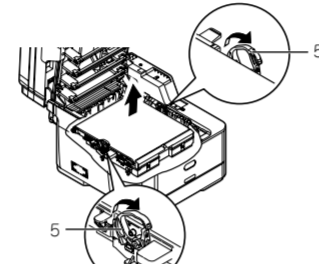
- 5 定着器ユニットの両側の固定レバー（3）を手前に倒し、ロックを解除します。



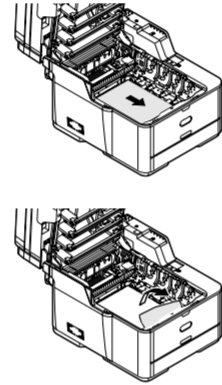
- 6 定着器ユニットのハンドル（4）を持ち、本機から定着器ユニットを取り出します。



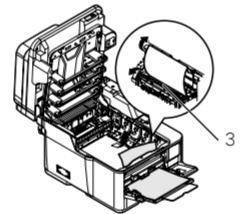
- 7 ベルトユニットの両側の青いロックレバー（5）に指を入れ、ロックレバーを手前に起こし、ベルトユニットを取り出します。



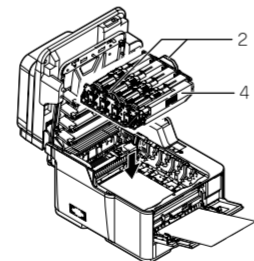
- 8 つまった用紙を矢印の方向に取り出します。



- 5 本機内部の透明のカバー（3）を開け、つまった用紙を取り除きます。



- 6 イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、K トナーカートリッジ（4）の位置が手前になるように本機に戻します。



- 7 トップカバーを閉じます。
- 8 スキャナ部を閉じます。

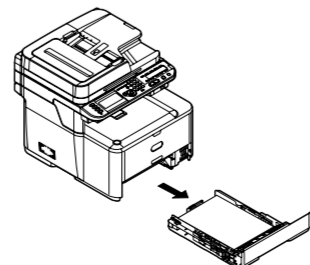
エラーコード 391、392

エラーコード 391 はトレイ 1 で、エラーコード 392 はトレイ 2 で紙づまりが起こったことを示します。

メモ

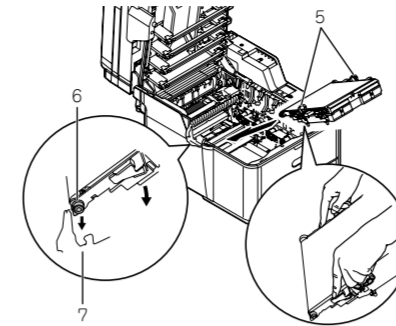
- ここではトレイ 1 を例にしています。

- 1 トレイを引き出します。

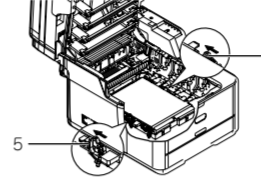


- 9 ベルトユニットの両側の青いロックレバー（5）を両手で持ち、本機に戻します。

ベルトユニットの左右先端にあるローラ（6）を本機内部の溝（7）に引っかけてから、ベルトユニットの後部をおろします。

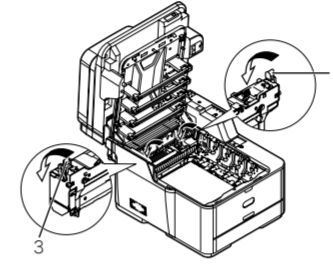


- 10 ベルトユニットのロックレバー（5）を奥側に倒し、ロックします。

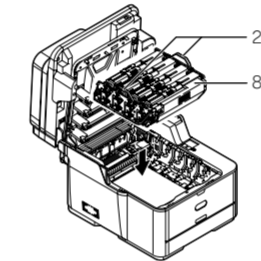


- 11 定着器ユニットのハンドルを持ち、定着器ユニットを本機に戻します。

- 12 定着器ユニットの両側の固定レバー（3）を奥側に倒し、ロックします。

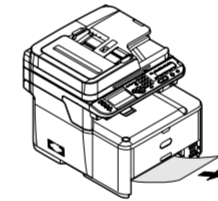


- 13 イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、K トナーカートリッジ（8）の位置が手前になるように本機に戻します。

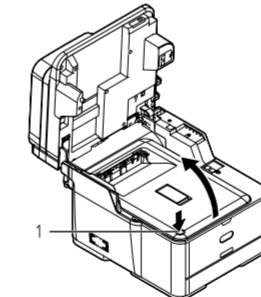


- 14 トップカバーを閉じます。
- 15 スキャナ部を閉じます。

- 2 つまっている用紙を取り除きます。



- 3 トレイを本機に戻します。
- 4 スキャナ部を開きます。
- 5 トップカバーオープンボタン（1）を押し、トップカバーを開けます。

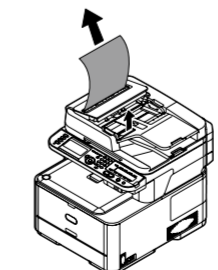


- 6 トップカバーを閉じます。
- 7 スキャナ部を閉じます。

原稿づまりが発生しました。

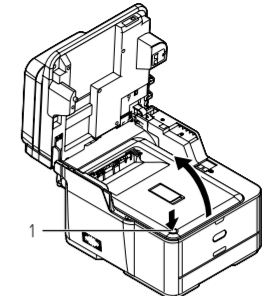
■ 両面搬送路から原稿が見える場合

- 1 ADF カバーを開き、原稿を上方向に引き抜きます。

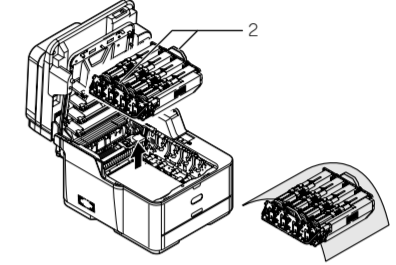


エラーコード 380、381、382、385、389

- 1 原稿トレイに原稿がある場合は取り除きます。
- 2 スキャナ部を開きます。
- 3 トップカバーオープンボタン（1）を押し、トップカバーを開きます。



- 4 イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、本機から取り出し、平らな場所に置きます。イメージドラムユニットを黒い紙または黒い袋で覆います。



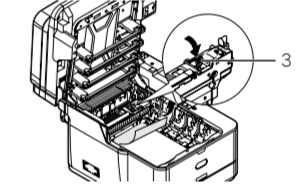
- 5 つまった用紙が見えたら、矢印の方向へ引き抜きます。



つまった用紙が本機内部の手前側にあるときは、矢印の方向へ引き抜きます。

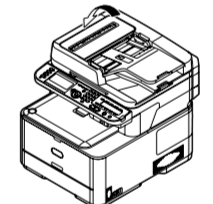


用紙が定着器ユニットにはさまれているときは、定着器ユニットの青いレバー（3）を矢印の方向に押しながら、用紙を手前に引き抜きます。

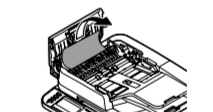


■ 自動原稿送り装置内部で原稿づまりが起きた場合

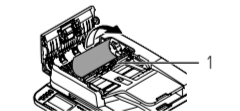
- 1 原稿トレイに原稿がある場合は取り除きます。
- 2 ADF カバーを開きます。



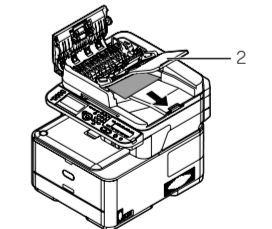
- 3 つまった原稿の先端を持って、ゆっくり引き抜きます。



用紙ガイド（1）の下に原稿の先端が見える場合は、用紙ガイドを持ち上げて原稿を引き抜きます。



原稿トレイ（2）の下に原稿の先端が見える場合は、原稿トレイを持ち上げて原稿を引き抜きます。



原稿トレイをおろします。

- 4 ADF カバーを閉じます。